

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0010/100555/02/04	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	ホームページ整備事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	行政事務OA化管理事業		担当部課名	企画広報課		
政策名	快適で魅力あるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	情報・通信					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人				
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人				
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を提供、更新できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年10月 ホームページ開設 平成14年10月 ホームページ改定 平成16年10月 ホームページリニューアル、サーバを内部設置 					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	ホームページ更新件数	件	239	283	264	250
	アクセス件数	件	55,666	134,631	176,194	180,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.360	0.360	100.0	0.420	116.7	0.440	104.8	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	4,153,968	3,808,914	91.7	4,394,005	115.4	4,486,852	102.1	
	事業費	1,137,528	1,367,100	120.2	936,075	68.5	936,000	100.0	
	合計	5,291,496	5,176,014	97.8	5,330,080	103.0	5,422,852	101.7	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		577,000	#####	614,000	106.4	600,000	97.7	バナー
	一般財源	5,291,496	4,599,014	86.9	4,716,080	102.5	4,822,852	102.3	
合計	5,291,496	5,176,014	97.8	5,330,080	103.0	5,422,852	101.7		

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ホームページへのアクセス件数(1月あたり)								
指標説明(式)	年間アクセス数 ÷ 12 平成18年1月16日アクセスカウンター設置(17年度実績は1月~3月平均値)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10,000	15,000	150.0	15,000	100.0	15,000	100.0	
	実績	12,000	13,143	109.5	14,682	111.7			

指標名2

指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	1アクセスに要する経費								
指標説明(式)	事業費(人件費含む) ÷ 年間アクセス数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	37	33	88.6	30	91.6	30	100.2	

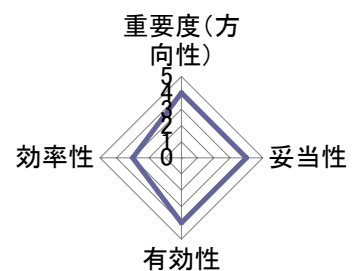
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	情報提供、情報公開の手段として重要である。	4	4
	市民ニーズ	より一層の内容の充実が求められている。		
有効性	成果目標(改善)達成度	外部サーバから内部サーバへ移行し、職員での更新が可能となった。	4	4
	市民サービス	職員での作成、更新により、市民のニーズに迅速に対応することが可能となった。		
効率性	コストの節減	内部サーバへの移行が完了し、委託料、人件費ともに節減された。しかし、今後計画的な機器の更新が必要になる。	3	3
	手段の最適性	市民サービスの向上、コストの削減が図られたが、セキュリティに対する対策が今まで以上に必要となる。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	職員研修をより充実したものとし、スキルの向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	情報発信の重要な手段であるという認識が、所属課、個人により差異があり、情報の更新にも格差が生じている。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

情報系機器の更新に併せて、庁内LAN環境の最適化を図る。

検討の有無	-
総合指標	21